

# カリヨン

通巻

第100号

発行／2026.1

函館音楽協会会報

<http://hako-on.com>

ごあいさつ

函館音楽協会会長 石丸典子



謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年も会員皆様のご協力のお陰で、各事業が滞りなく開催することができました、心より感謝申し上げます。

今年はいよいよ函館音楽協会創立90周年のアニヴァーサリー・イヤーです。

本年11月8日（日）、函館市芸術ホールに於いて、会員総力を上げて記念演奏会を開催する予定です。引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。

そして、もう一つのアニヴァーサリー。この度、函館音楽協会会報「カリヨン」が大きな節目となる100号を迎えました。カリヨンは調律された複数の鐘を組み合わせ、鍵盤やペダルを使ってメロディを演奏する楽器ですが、街に時を告げるその音色は、不幸を追い払い、幸せを呼ぶ平和の象徴、といわれています。私たちが手にする会報がカリヨンとは、なんて素敵なネーミングでしょう、改めて先輩方のセンスに感服します。

「カリヨン」は昭和36年（1961年）、恩賀寿一会長の時に創刊し、今年で64年目となります。定演の演奏会批評が載っていて、ドキドキしながら手にした時代もありました。カリヨンは会員同士を繋ぐ揺るぎない存在です。今後、時代に呼応して変化していく事があったとしても、大切にしたいと思う事業の一つです。今までカリヨンの編集に携わってくださった歴代幹事の皆様、そして、今、担当してくださっている宮腰史江さん、三浦浩平さんに深く感謝の意を申し上げます。

因みに、函館にあるカリヨンをスマホで検索しましたら、函館ラ・サール高等学校と函館白百合学園、恵山町公園、に設置されている事がわかりました。今年もカリヨンが函館の街に響きわたり、平和で良い年になりますように。そして、函館音楽協会にとっては今年の干支「丙午」にあやかり、芽が成長し、葉が広がり、成長著しい飛躍の年でありますように、と願います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

## 函館音楽協会2026年度事業予定

函館音楽協会2026年度事業日程は、次の通りに決定しましたのでお知らせします。

総会 令和8年4月26日（日）亀田交流プラザ大会議室

受賞記念演奏会・春季定期演奏会 5月24日（日）函館市芸術ホール

学生コンサート 8月22日（土）函館市芸術ホール

ジュニアコンサート 9月23日（水祝）函館市芸術ホール

函館音楽協会創立90周年記念演奏会 11月8日（日）函館市芸術ホール

## 令和7年度函館音楽協会賞および奨励賞受賞者決定について

函館音楽協会（会員109名）は、令和7年12月4日午後7時より、函館市亀田交流プラザ小会議室に於いて選考委員会を開催し、令和7年度函館音楽協会賞・奨励賞受賞者を決定しましたので発表いたします。

令和7年度の受賞者は次のとおりです。

函館音楽協会賞（第36回）	佐藤洋子	ヴァイオリン
函館音楽協会奨励賞（第62回）	阿部香緒	ピアノ
	有岡琴美	ヴァイオリン
	村田麻由	声楽

両賞は、会員並びに函館市及び函館市近郊に在住する個人・団体を対象に、毎年前年12月1日から11月30日までの1年間の活動を対象として選考されます。協会賞は過去からの実績の蓄積、および当該年度中における郷土の音楽文化向上推進への特段の功績が認められる事業、あるいは活動した個人や団体に授賞します。奨励賞は当該年度中に作曲並び演奏活動において、意欲的且つ、特筆すべき高水準の実績を示し、郷土の音楽活動の推進力となった個人又は団体に対して授賞します。

表彰式は令和8年1月25日（日）午前11時30分より五島軒にて行われ、受賞者には賞状と記念品が授与されます。また、受賞者は5月24日（日）開催の春季定期演奏会（函館音楽協会主催 於：函館市芸術ホール）において受賞記念演奏を行う予定です。

### 令和7年度函館音楽協会選考委員会委員

委員長	会長	石丸典子	委員	副会長	島聖子
委員	評議員	市川須磨子	委員	副会長	畑中佳子
委員	評議員	佐々木茂	令和7年度委嘱委員		久保悦子（会員）
委員	評議員	穴戸雄一	令和7年度委嘱委員		岩平尚子（会員）

以上8名

## 受賞事由

### 函館音楽協会賞

佐藤洋子（さとう ようこ）：ヴァイオリン

氏は会員として活動し、当協会が主催する育成事業「ジュニア・コンサート」には毎年生徒を参加させ事業に貢献してきた。1981年には函館及び七飯で小林料子氏（ピアノ）と共に「デュオ・リサイタル」を開催。また、1983年には、その目覚ましい活躍が評価され、昭和58年度函館音楽協会奨励賞を受賞している。

1988年から1992年には北海道教育大学函館校の非常勤講師を務めている。

1991年、財団法人函館市文化スポーツ振興財団（当時）が立ち上げた「函館市民オペラ」の第一回公演「カルメン」では、函館市民オペラ管弦楽団のコンサートマスターを務め、旗揚げ公演を成功に導いた立役者の一人となった。

また、2000年に財団が設立した函館ジュニア・ドリーム・オーケストラの音楽アドバイザーは現在も務めており、定期演奏会をはじめとする団体の活動に大きく貢献している。

長年に亘り、函館に於ける弦楽器奏者の指導・育成にあたってこれら活動やその実績は、郷土の音楽文化向上の推進に大きな功績として、高く評価される。

### 函館音楽協会奨励賞

阿部香緒（あべ かおり）：ピアノ

氏は、各種演奏会やコンクール等での声楽に於ける伴奏ピアニストとして活躍し、常に安定した技量で歌を支える演奏には定評がある。特に、令和7年度函館音楽協会秋季定期演奏会や北海道文化フォーラムin函館（共に函館市芸術ホールにて開催）での伴奏においても、情感溢れるピアノを披露し、聴衆を魅了した。

また、函館オペラの公演では、毎回練習ピアニストとして貢献し、令和7年11月に上演された第26回公演モーツァルト作曲歌劇「魔笛」公演を成功に導いた一人として尽力した。これらの活動は、郷土の音楽文化の大きな推進力となり、今後益々の活躍が期待される。

### 函館音楽協会奨励賞

有岡琴美（ありおか ことみ）：ヴァイオリン

氏は、ヴァイオリン奏者として、令和7年度函館音楽協会春季定期演奏会、及び、秋季定期演奏会に意欲的に出演し、ダイナミックで素晴らしい演奏を披露した。

特に、ショーソン「詩曲 作品25」は、ピアノの緩やかな序奏に乗って、抒情味豊かに奏し、情熱に満ちた強烈な旋律は聴く人の心を揺さぶる演奏で、聴衆を惹きつけた。

また、本年は市内のオーケストラ、函館オペラ管弦楽団に所属し、積極的な演奏活動に邁進してきた一年でもあり、この姿勢は大いに評価される。

これらの活動は、郷土の音楽文化の大きな推進力となるもので、今後益々の活躍が期待される。

### 函館音楽協会奨励賞

村田麻由（むらた まゆ）：声楽

氏は、11月函館オペラの会公演「魔笛」に於いて極めて高度な演奏技術が求められる「夜の女王」を見事に歌い切り、聴衆の喝采を受けた。また、8月に開催されたアカシア会65周年記念演奏会ではプッチーニのオペラリアを高いレベルで歌い上げるなど顕著な演奏活動であった。

また氏の活動はソロ活動に留まらず、中学校の合唱指導、女声コーラストリルの団員、合唱連盟事務局長など多岐にわたり、函館の音楽に果たした役割は大きい。この一年における多方面に亘る目覚ましい活躍は特筆に値し、函館の音楽文化の推進力になった。今後益々の活躍が期待される。



## 受賞者プロフィール



### 函館音楽協会賞

佐藤 洋子（さとう ようこ）：ヴァイオリン

函館市出身。東京都立芸術高校、武蔵野音楽大学、伊・パガニーニ音楽院卒業。免束龍夫、萩原耕介、F.リヒネフスキー、R・デ・バルビエリに師事。モーツァルテウム・サマーコース・ファイナルコンサート出演。ジェノヴァ市立オペラ劇場オーケストラ及び室内合奏団「イ・カメリスティ」団員。1981年函館及び七飯で「デュオ・リサイタル」。1983年函館音楽協会奨励賞受賞。1988～1992年北海道教育大学函館校非常勤講師。函館音楽協会地方会員。函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ（2000年創立）は創立時より音楽アドバイザーを務め、現在に至る。



### 函館音楽協会奨励賞

阿部 香緒（あべ かおり）：ピアノ

上野学園大学短期大学部音楽科ピアノ専門卒業。卒業演奏会、函館新人演奏会に出演。ピアノを吉田淳子氏、細野其子氏、後町久子氏、塚原恵美子氏に師事。ソルフェージュを島聖子氏に師事。

2025カワイうたのコンクール北海道大会幼児コースにて優秀指導者賞を受賞。函館オペラの会では、毎公演練習ピアニストとして参加。函館ラ・サール学園GLEE CLUBピアニスト、カワイコーラス若草ピアニスト、女声コーラストリル団員。現在、カワイ音楽教室講師。函館音楽協会幹事。



### 函館音楽協会奨励賞

有岡 琴美（ありおか ことみ）：ヴァイオリン

札幌市出身。函館白百合学園高等学校、札幌医科大学医学部医学科卒業。ヴァイオリンを森容子氏の手ほどきで4才から始め、現在、市川映子、徳永二男各氏に師事。北海道毎日学生コンクール、全日本ジュニアコンクール等のヴァイオリン部門で入賞多数。2014年東京にてS.D.エレリ氏指揮、東京国際芸術協会オーケストラと協奏曲を共演。これまでに函館音楽協会主催の各種コンサート、札幌JRタワーそらのコンサートなどに出演し、函館、札幌、東京を中心にソロ、オーケストラのコンサートミストレス、室内楽等の演奏活動を行っている。函館市民オーケストラ、函館オペラ管弦楽団、オーケストラHARUKA（札幌）、カンマーフィルハーモニー札幌団員。函館音楽協会、東京国際芸術協会会員。函館五稜郭病院病理診断科医師。



### 函館音楽協会奨励賞

村田 麻由（むらた まゆ）：声楽

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース、北海道教育大学岩見沢校大学院修士課程教科教育専攻音楽教育専修声楽分野修了。ピアノを布施谷信子、声楽を島聖子、松田由理子、野田廣志、西井ひろえ、川原敦子の各氏に師事。第17回旭川市新人音楽賞受賞。これまでに大学オペラ「フィガロの結婚」でバルバリーナ役、「ヘンゼルとグレーテル」でグレーテル役にて出演。さっぽろオペラ祭にて、教育大学公演としてオペラ「バスティアンとバスティエンヌ」でバスティエンヌ役を務める。函館オペラの会第22回公演「フィガロの結婚」でバルバリーナ役、第26回公演「魔笛」で夜の女王役で出演。現在、市立亀田中学校音楽教諭。函館合唱連盟事務局長。女声コーラストリル団員。函館音楽協会幹事。

## 令和7年函館市文化賞 布施谷信子氏 受賞

このたび当会会友、布施谷信子氏が令和7年（第76回）函館市文化賞を受賞しました。

函館市文化賞は、函館市の文化の発達に貢献した個人または団体に贈られる賞で、音楽協会会員の文化受賞は昨年（第75回）受賞の宮崎加奈古氏に続き2年連続の快挙です。

布施谷信子氏は、昭和35年アカシア会ピアノ教室を設立し、本年、創立65周年を迎えられました。これまで数多くの音楽活動で活躍する人物を輩出するとともに、市内の学生の指導に携わるなど、後進の育成に努められました。また、昭和35年に函館音楽協会へ入会以後、長きに渡り会の発展に尽力されたほか、日本ショパン協会北海道支部函館地区委員長として演奏会の企画および開催を行うなど、函館市の音楽文化の振興に貢献されたことが評価されました。



### ◇令和7年 函館市文化賞 布施谷 信子氏

この度は、栄誉ある函館市文化賞を頂戴いたしまして、誠に光栄に存じます。

この度の受賞は、今日まで御指導下さいました音楽教育機関の諸先生方のお教えあつてのことと心より感謝いたしております。

私が函館音楽協会に入会させて戴きましたのは昭和35年4月で、当時の定期演奏会のプログラムには、ピアノの第一人者、根上義雄先生、華麗なショパンを弾かれる酒井武雄先生、作曲家 林喬木先生の名があり、夫々、合唱団を持っておられ、高校教師 恩賀寿一先生、フルートの清水信勝先生と錚々たる先生方のご活躍で演奏会を賑わせております。

昭和36年の秋、公民館で佐藤金一、安子先生と私で演奏会を開催いたしました時、私の演奏したベートーヴェンのソナタOp.27-No.2（月光）は忘れられない曲となりました。母が病で余命幾何もない時でありましたので、

母は家にいていただき、私は本番ステージでピアノに向い、母に感謝し「今から弾く『月光の曲』が病床の母に届きますように」と祈りを込めて演奏致しました。弾き終えて会場から熱い励ましの拍手を戴き、とても嬉しく有りがたく思ったのを忘れる事が出来ません。

又、当時会長を務めていらした清水信勝先生の発案で催された会員による「ベートーヴェンピアノソナタ全32曲全曲演奏会」と「ベートーヴェン未録音ピアノ作品演奏会」の膨大な計画は、会員ピアニスト32名全員出演のもと実現されました。

全八夜に渡るプログラム第一夜は、ベートーヴェン25才の時のソナタ第1番Op.2-1へ短調を田中やす代先生の若々しく躍動感にあふれた演奏で始まり、最終、第八夜は52歳の時のソナタ第32番Op.111ハ短調を寺井（木村）かえ先生の深烈で荘重な序奏に始まり、内面的に深く、崇高な精神が静かに広大な天空の彼方に昇っていく、美しい余韻を残してベートーヴェンピアノソナタ全32曲演奏会は終わりました。

ベートーヴェンソナタは時代と共にスケールの大きい曲になっていき、ピアノソナタにシンフォニックな音響的效果を追い求め、雄大な大曲を築き上げたのです。

ピアノソナタは現在も私たちの心に響き、親しまれ、255年たった今も演奏され続けております。

函館音楽協会は地域に根差した音楽グループとして演奏家の礎となっております。函館音楽協会の皆様の益々の御活躍、御発展を祈念申し上げております。





## 第52回函館音楽協会学生コンサート

第52回学生コンサートが8月31日（日）函館市芸術ホールで開催されました。今年度は音楽を学ぶ高校生と大学生6組が出演し、ピアノ、クラリネット、トロンボーン、トランペット、テノールと、バラエティに富んだ音色を披露しました。若さと力強さ溢れる演奏に、会場からは温かい拍手が送られていました。

出演した片平颯太さんよりコメントをお寄せいただきました。

### ◇京都市立芸術大学音楽学部 声楽専攻4回生 片平 颯太

この度は第52回学生コンサートに出演する機会をいただき、誠にありがとうございました。私は今回3回目の参加となりましたが、毎回共演する学生の皆さんの音楽に刺激をいただける場となっており、非常に貴重な演奏会だと感じております。

個人的な話をいたしますと、クラシック音楽の世界に本格的に足を踏み入れたのは京都芸大に入学した2022年で、当時、函館を離れてから4年が経過していました。高校時代に合唱で島聖子先生にお世話になっていたとはいえ独唱でコンサートに出演した経験などは無かった私は、函館での演奏家としての土台が無い状態であったと言えます。そのような中でも島先生をはじめとする音楽協会の皆様に暖かく迎えていただき、家族や地元の皆様の前で学習の成果を発表する機会をいただけていることに深く感謝しています。

また、少し前述しましたが、毎回の学生コンサートでは共演する学生の皆さんの演奏に非常に感激させられます。地元へ帰ってきて他の学生の素晴らしい演奏を聴き、音楽的な視野が広がるということは何度も経験しました。このことは函館から素晴らしい人材を輩出し続けている音楽協会の皆様のご尽力が伝わってくる瞬間だと感じています。

演奏家としての土台が無かった私も、学生コンサートへの出演を通じて多くの地元の方々に応援していただけるようになりました。ひとえに音楽協会の皆様のおかげです。函館の皆様の応援に感謝しながら、これからも歌い続けていきたいです。





## 第66回函館音楽協会ジュニアコンサート

函館音楽協会主催第66回ジュニアコンサートが9月23日（火・祝）函館市芸術ホールで開催されました。

ジュニアコンサートは函館とその近郊で音楽を学ぶ子供たちのコンサートで、今年度は小学3年生から高校生までの20名が日ごろの練習の成果を発揮しました。

ピアノ、ヴァイオリン、フルート、アルトサクソフォーン、クラリネット、声楽の21ステージが披露され、個性あふれる豊かな音色に会場からは温かい拍手が送られていました。

アルトサクソフォーン独奏で出演した蛭沢凜音さんより出演の感想をいただきました。

### ◇遺愛女子高等学校3年 蛭沢 凜音

私はこれまでにジュニアコンサートに4回出演させていただきました。初めての出演のときはあまり緊張せずに演奏出来ていたのですが、回数を重ね成長していく度にどんどん緊張するようになっていました。

また、聴いてくださる方々の拍手が私の励みになっていました。音楽は自分ひとりではなく、聴いてくれる人や一緒に演奏する仲間、先生や家族など、多くの人の支えの中で成り立っているのだと強く感じました。

同時に、舞台に立つたびに自分の課題も見えてきました。緊張で思うように演奏できなかったり、暗譜していたものが真っ白になってしまったりした所です。しかしその反省があったからこそ、次はもっともっと努力しようという気持ちにつながりました。演奏を重ねるうちに、ただ音を出すだけでなく、作曲家の思いや曲の雰囲気をどう表現するかを考えるようになりました。

この経験を含め、私は音楽をもっと深く学びたいと思い、音楽大学への進学を決めました。大学では技術や知識をさらに高め、皆様の心に届くような演奏ができるように精進していきたいと思っています。ジュニアコンサートでの学びは、私の音楽の道を進む大きなきっかけとなり、これからの私の音楽人生にとって大切な一歩になったと感じています。

第66回  
函館音楽協会  
JUNIOR  
CONCERT  
ジュニアコンサート

2025.9/23(火・祝)  
函館市芸術ホール(ハーモニー五楼) 開演 13:00 開演 15:45

1. ヴァイオリン 山本 月乃 (山本音楽学校)	12. ピアノ/声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
2. ヴァイオリン 山本 月乃 (山本音楽学校)	13. フルート 山本 望実 (山本音楽学校)
3. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	14. フルート 山本 望実 (山本音楽学校)
4. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	15. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
5. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	16. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
6. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	17. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
7. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	18. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
8. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	19. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
9. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	20. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
10. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	21. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)
11. 声楽 山本 望実 (山本音楽学校)	

※出演者名は当日のプログラムで発表されます。





## 令和7年度函館音楽協会秋季定期演奏会

11月8日(土) 18:00より、函館市芸術ホールに於いて令和7年度函館音楽協会秋季定期演奏会が開催されました。

定期演奏会は当会会員の研鑽の場として春と秋に年二回開催しており、秋季定期演奏会は毎回テーマを設けたプログラム構成になっています。

今回は「カーニバル アンバーサリーヤーの作曲家たち」と題して、2025年が記念年にあたる作曲家の作品を取り上げました。

J.S.バッハ(生誕340年)や山田耕筰(没後60年)などの作品をピアノ、フルート、リコーダー、ヴァイオリン、チェンバロ、ソプラノ、メゾソプラノで8ステージ披露されました。

馴染み深い曲から普段あまり耳にしない名曲まで趣き深い曲調が揃い、会場にお越しのお客様からはあたたかな拍手が送られていました。



### ◇ピアノ連弾 堀内 由美子

この度は、秋季定期演奏会にご出演の機会をいただき、誠にありがとうございました。演奏側の気持ちを深く理解くださる幹事の先生方、スタッフの皆さまの手厚いサポートに、心より感謝申し上げます。

私たちデュオ KAHLUAは、「お客様に楽しんでいただける演奏」を目指し、2004年に親子で結成したピアノ連弾ユニットでございます。昨年は、私の肩の骨折により三手連弾となりましたが、今年は無事に四手連弾でステージを務めることができ、安堵しております。

今年は、生誕200年のヨハン・シュトラウスⅡ世の作品より、『美しく青きドナウ』と『トリッチ・トラッチ・ポルカ』を選曲いたしました。

『美しく青きドナウ』は、普墺戦争の敗北とコレラ流行で疲弊したウィーン市民を力づけるために生み出され、「第二の国歌」とも言われる名曲です。ピアノでの響きや、ウィンナ・ワルツ独特の間合いをどう表現するか、試行錯誤いたしました。

練習を通じ、シュトラウスⅡ世が描く情景の広大さと、困難な時代に生きる人々への温かい思いを深く感じました。この奥深さこそが、この曲が時代を超えて愛される大きな理由の一つであると思います。

また、明るく軽快な『トリッチ・トラッチ・ポルカ』は、弾いている私たちも心から楽しい一曲でした。会場の皆さまにも、その楽しい雰囲気が伝わりましたら幸いです。

ご来場の皆さま、温かい拍手を賜り、本当にありがとうございました。



## コンサート情報

### —主催事業—

#### 第2回プロムナードコンサートin函館美術館

- 日時／2026年2月15日（日）14時開演
- 会場／北海道立函館美術館
- 料金／無料

#### 令和7年度函館音楽協会賞・奨励賞受賞記念演奏会

#### 令和8年度春季定期演奏会

- 日時／2026年5月24日（日）
- 会場／函館市芸術ホール

#### 第53回 学生コンサート

- 日時／2026年8月22日（土）
- 会場／函館市芸術ホール

#### 第67回ジュニアコンサート

- 日時／2026年9月23日（水祝）
- 会場／函館市芸術ホール

#### 函館音楽協会創立90周年記念演奏会

- 日時／2026年11月8日（日）
- 会場／函館市芸術ホール

### —後援事業—

#### 第2回学生音楽フェスティバル

- 日時／2026年2月8日（日）13:25開演
- 会場／函館市芸術ホール
- 主催／学生団体あくせる

#### 2026スプリング・コンサート

#### 難波陽介&小林正憲サクソフォン・リサイタル

- 日時／2026年3月8日（日）14:00開演
- 会場／函館芸術ホール
- 主催／公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団、HBC函館放送局

#### 「令和7年度五稜郭アーティスト事業」

#### バリアフリーコンサート

- 日時／2026年3月27日（金）18:00開演
- 会場／函館市芸術ホール
- 主催／バリアフリー実行委員会

## 編集後記

2026年には、函館音楽協会創立90周年を迎えます。創立以来、皆様に御愛読いただいておりますこの「カリヨン」も、今号で100号という節目となりました。これを機に、「カリヨン」の紙媒体での発行を徐々に減らし、ホームページによる情報発信へと移行していく方向で動いています。

今後、形を変えていく「カリヨン」ですが、音楽を愛する気持ちは変わらず皆様と共に歩んでいきたいと考えていますので、御理解のほど、よろしくお願いいたします。

